

水道異物検査 ご相談下さい

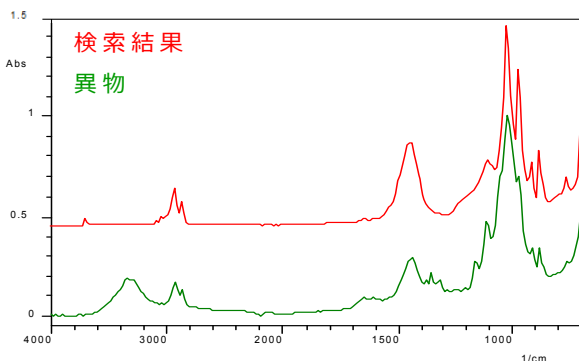
異物・漏水の調査・分析

水道水に関してのご相談は、消毒副生成物(トリハロメタン類など)や、カビ臭やカルキ臭などの異味・異臭に関するもの、そして異物混入など様々です。

その中で最近特に多いのが異物混入。原因はゴムやパッキン、各種シール材等の水道部材のほか、バクテリアなど微生物が考えられます。水道部材については、施設の老朽化や工事などの影響によるものが主な原因として考えられます。こうした異物の原因を究明することで「施設利用者様に安心をお届けしたい」と、日本分析では事前に入念なお打ち合わせをさせていただき、ご納得いただける試験内容のご提案に努めております。



島津製作所 FT-IR IRAffinity-1



赤外線スペクトルの検索結果の一例

FTIRデータベースによる検索結果の詳細情報

「パイ径32mm排水金具用パッキン_灰_内側」
材質：Styrene butadiene styrene(SBS),
Calcium carbonate(CaCO₃),
Magnesium silicate(TALC,3Mg₄SiO₂H₂O)
主要元素：Cl,Ca,Si,Mg,S,Zn,Ti
色：灰 形状：樹脂/リング状
硬さ：柔らかい 金属光沢：無
測定法：ATR(Diamond)

未知試料の検査・分析を一般的には定性試験といいます。定性試験は下記のように幾つかのパターンに分けられます。

1. 水中に溶存する元素等の一斉定性→ICP/MS、GC/MS、IC 等
2. 水中に浮遊または沈殿する異物の定性→水分除去後、FT-IR または EPMA 等
3. 水分を含まないいわゆる固形物の定性→FT-IR または EPMA 等
4. 漏水の推定→サンプルの状態に応じて検討
5. その他 簡易定性として、酸分解処理試験、燃焼試験等

定性試験は、そのサンプルの状態により結果が断定できない場合も多いので、あらかじめサンプルを確認させていただき、試験方法をご説明申し上げた上で試験の開始となります。

当社は創立 40 余年、「お客様により近く」を合言葉に、「愛される環境企業」を目指し、分析業務に一意専心努めております。

厚生労働大臣登録水質検査機関、ISO 認証取得機関、その他各種知事登録機関として皆さまから厚い信頼を賜っております。

(ハロー みずハロー)

TEL>>> **0120-86-3286** (フリーダイヤル)

携帯・PHS の方はこちらから >>>03-5914-4431(代)

〒174-0051 東京都板橋区小豆沢 2-26-14

担当：技術営業課

HP アドレス <http://www.n-bunseki.co.jp/>

日本分析

異物・漏水

検索

